

『特定非営利活動法人えがおつなげて』のご紹介

◆ 活動概要

農をはじめとした地域共生型のネットワーク社会を創ることを目的に、「村・人・時代づくり」を行っています。山梨県北杜市白州町を中心に、北杜市増富、南アルプス・八ヶ岳周辺、長野県飯島町、長野県小諸市、栃木県那須、茨城県常陸太田市、会津地域、三重地域、福岡地域、東京丸の内、などで、以下の活動を行っています。

えがおの学校、えがおの専門学校など農村都市交流マネジメントコーディネーター人材育成
関東ツーリズム大学など都市のニーズと地域の問題解決を学ぶネットワーク

空と土プロジェクトや企業のはたけ倶楽部、やまなし企業ファームリーグなど、企業との連携での農商工連携、耕作放棄地解消活動

山梨エネルギーファーム、木質バイオマスなどエネルギー対策
えがおファームによる農村都市交流プログラムやえがおマルシェによる農作物・加工品の販売他



◆ 表彰履歴

農林水産省(平成19年度)
「オーライ!ニッポン大賞」受賞
(財)あしたの日本を創る協会(平成20年度)
「あしたのまち・くらしづくり活動部部門
内閣総理大臣賞」受賞
経済産業省(平成20年度)
ソーシャルビジネス55選に選定
SEOY日本プログラム(平成22年度)
ファイナリスト選出



◆ プロフィール

設立：2001年2月

役員

代表理事 曾根原久司

1961年長野県飯田市生まれ。明治大学卒業後、フリーター、ミュージシャンを経て、金融系の経営コンサルトの道へ。バブル崩壊後、銀行などの経営指導に危機を感じ、95年、東京から山梨へ移住し、農林業を柱とした自給自足の生活を実践。01年NPO法人「えがおつなげて」設立。内閣府が選定する「地域活性化伝道師」235人中の1人に選ばれる。

えがおファーム農場長・理事 小黒裕一郎

1979年横浜生まれ。立教大学卒業後の4年間、自転車で日本・世界を旅した際に重要であると実感した自給的暮らしを実践するため、2005年に現在の居住地である山梨県北杜市に移住。NPO法人えがおつなげての農場・えがおファームの農場長として、持続可能な農業の実践と、農村を舞台としたグリーンツーリズムイベントの企画・運営を行っている。

本部所在地：山梨県北杜市白州町横手 2910-2

Tel:0551-35-4563 Fax:0551-35-4564

主要活動拠点：本部、開拓館[えがおつなげての古民家]、開拓館アネックス、えがおファーム & 都市農村交流センター鉾泉みずがきランド、東京事務所

URL：<http://www.npo-egao.net/>



山梨県の地域おこし協力隊

概要

山梨県で、40名の地域おこし協力隊員(農業協力隊員)を受入れ、JAや農業生産法人等の支援機関のもと各地域で活動。



内容

隊員の人材

・三大都市圏等の都市から男性35名、女性5名
計40名を受入れ

設置根拠

・農業協力隊推進事業実施要綱

受入れ期間

平成21年10月～(平成23年度末まで)

活動内容

・農業活動(耕作放棄地解消作業、農作物の栽培)
・地域おこし活動(地域共同作業、地域美化活動等)

ポイント

・俳優の菅原文太氏をコーディネータとして、定住に向けた指導・助言、シンポジウムの開催。



農作業を行う隊員

H22年度新規就農者確保・育成対策

新規就農対策(就農準備段階)

いつかは山梨で
農業をしたい

本当に農業に向いている
のか農作業を通じて確認

就農トレーニング塾の新設

農業協力隊

就農定着支援制度の新設

基礎より高度な技術を習得

果樹試験場における実践研修

親の跡を継ぎたい(学生・リターン)

農業大学校(本科・訓練科)

マッチング

就農相談会の
充実

体験
(交流促進)

就農を希望する
若者との交流
イベントの開催

担い手育成対策(就農段階)

就農時の初期投資や農地の確保を支援

園地リース促進制度の創設

〔リース用樹園地の整備を支援〕

機械等の初期投資軽減策の創設

〔就農に必要な機械・施設の導入を支援〕

いきなり独立の心配を解消(雇用就農)

農業生産法人の育成

〔JA出資型法人の育成、企業の農業参入、
ふるさと雇用・農業協力隊による就農機会の確保〕

規模拡大に必要な経費や労力を支援

果樹農家規模拡大支援策の創設

〔規模拡大、省力技術の導入のための
伐採に伴う無収入期間の経費等を支援〕

作業受委託組織の育成等

〔JA営農サポートセンターの拡大〕

栽培技術をサポート

〔普及指導員と篤農家が連携して支援〕

新規
就農
者
等

担い手
地域農業の
リーダー

行政体制の強化

担い手対策室の創設

〔普及センター、就農支援センター、
農業大学校との連携強化〕

現場でのバックアップ

ニューファーマー応援チームの創設

〔JAの支所、支店の範囲等で地域の実情に
応じた担い手支援(オーダーメイド支援)を実施〕

試験研究の促進

省力化営農技術の研究を充実
研究成果の早期普及
(実証ほの設置、拡充)